

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称： 5・工学部

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育の水準 分析項目 II 教育成果の状況 観点 2-2 「進路・就職の状況」 〔判断理由〕</p> <p>【原文】 「第 2 期中期目標期間（平成22年度から平成27年度）における大学院進学率は、39.2%から53.3%の間を推移している。また、就職率は、92.2%から97.2%の間を推移しており、主な就職先業種は、<u>製造業、建設業、情報通信業</u>となっている。」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更願いたい。</p> <p>【修正文案】 「第 2 期中期目標期間（平成22年度から平成27年度）における大学院進学率は、39.2%から53.3%の間を推移している。また、就職率は、92.2%から97.2%の間を推移しており、主な就職先業種は、<u>製造業、公務員、情報通信業、建設業</u>となっている。」</p> <p>【理由】 現況調査表の表31 過去6年間の就職先割合（5-29）に基づき、就職先として割合の高い業種順の記載に修正いただきたい。</p>	<p>【対応】 意見を踏まえ、判断理由を以下のとおり修正する。</p> <p>【修正文】 ○ 第 2 期中期目標期間（平成22年度から平成27年度）における大学院進学率は、39.2%から53.3%の間を推移している。また、就職率は、92.2%から97.2%の間を推移しており、主な就職先業種は、<u>製造業、公務員、情報通信業、建設業</u>となっている。</p>

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称： 6・工学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育の水準 分析項目 II 教育成果の状況 観点2-2「進路・就職の状況」 〔判断理由〕</p> <p>【原文】 「第2期中期目標期間における博士前期課程の就職率は、97%以上となっており、主な就職先は、<u>製造業、電気ガス水道業、情報通信産業</u>となっている。」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更願いたい。</p> <p>【修正文案】 「第2期中期目標期間における博士前期課程の就職率は、97%以上となっており、主な就職先は、<u>製造業、情報通信産業、建設業、電気ガス水道業</u>となっている。」</p> <p>【理由】 現況調査表の表20 博士前期課程修了者の進路状況(6-16)に基づき、就職先として合計の数が多い業種順の記載に修正いただきたい。</p>	<p>【対応】 意見を踏まえ、判断理由の一部を以下のとおり修正する。</p> <p>【修正文】 ○ 第2期中期目標期間における博士前期課程の就職率は、97%以上となっており、主な就職先は、<u>製造業、情報通信業、建設業、電気ガス水道業</u>となっている。</p>

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称： 6・工学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 II 質の向上度 1. 質の向上度 分析項目II 教育成果の状況 〔判断理由〕</p> <p>【原文】 「第2期中期目標期間における博士前期課程の就職率は、97%以上となっており、主な就職先は、製造業、<u>情報通信産業</u>となっている。」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更願いたい。</p> <p>【修正文案】 「第2期中期目標期間における博士前期課程の就職率は、97%以上となっており、主な就職先は、製造業、<u>情報通信産業、建設業、電気ガス水道業</u>となっている。」</p> <p>【理由】 I 教育の水準 分析項目II 教育成果の状況 観点2-2 「進路・就職の状況」〔判断理由〕の原文と合っていないため、現況調査表の表20 博士前期課程修了者の進路状況(6-16)に基づき、就職先として合計の数が多い業種順の記載に修正いただきたい。</p>	<p>【対応】 意見を踏まえ、判断理由の一部を以下のとおり修正する。</p> <p>【修正文】 ○ 第2期中期目標期間における博士前期課程の就職率は、97%以上となっており、主な就職先は、製造業、情報通信業、建設業、電気ガス水道業となっている。</p>

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称： 7・農学部

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育の水準 分析項目 I 教育活動の状況 観点1-2「教育内容・方法」 〔判断理由〕</p> <p>【原文】 「○ 学生の主体的学習を促すため、<u>共生環境課程森林科学コース</u>では、<u>セメスター制</u>の実施、定期的なガイダンスの実施、オフィスアワーの周知、宿題やレポート等による教室外学習の推進、履修単位数上限の緩和等の取組を行っている。」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更願いたい。</p> <p>【修正文案】 「○ 学生の主体的学習を促すため、セメスター制の実施、定期的なガイダンスの実施、オフィスアワーの周知、宿題やレポート等による教室外学習の推進、履修単位数上限の緩和等の取組を行っている。」</p> <p>【理由】 共生環境課程森林科学コースでは日本技術者教育認定機構（JABEE）による認定を受けているが、原文にある教室外学習の推進、履修単位数上限の緩和等の取組については森林科学コースのみならず、学部全体の取組であるため。</p>	<p>【対応】 意見を踏まえ、判断理由を以下のとおり修正する。</p> <p>【修正文】 ○ 学生の主体的学習を促すため、セメスター制の実施、定期的なガイダンスの実施、オフィスアワーの周知、宿題やレポート等による教室外学習の推進、履修単位数上限の緩和等の取組を行っている。</p>